

大樟会東播磨支部新聞

発行所
大阪経済大学
同窓会
「大樟会」
東播磨支部
発行人
福田敏裕

再建7年目東播磨支部総会開催！

支部総会を母校「ホームカミングデー」で開催

学校訪問で多数の参加を期待・・・？

平成29年11月4日（土）に、平成23年に再建され7回目の大樟会東播磨支部の平成29年度総会を大阪経済大学E館（同窓会館）7Fで開催しました。終了後、引き続きホームカミングデーに参加し、徳永学長や藤本理事長など大学の現状を聞いて、そのままホームカミングデー懇親会に参加し、旧交を深めることができました。

総会にはホームカミングデーの当日の

他支部からは大樟会明石支部から、安

大樟会会長
田村正晴様挨拶



平成29年度総会終了後、懇親会の間に、大学D館21教室で開催されたホームカミングデー2017に出席しました。藤本二郎理事長、徳永光俊学長、田村正晴大樟会会長の祝辞で

本理事長からは、遠隔地域の各支部長に対して地元高校への

は、「大学の現状や目標について」聴講できました。特に藤本理事長からは、遠隔地域の各支部長に対して地元高校への

ホームカミングデー2017に参加



川武延副会長初め3名の方々に出席していただき、挨拶いただきました。

福田支部長
冒頭あいさつ



東播磨支部レポート 第8号は、「グルメレポート」します

このコーナーは、東播磨支部の会員の方に役に立つ耳よりな情報（グルメ・観光・買い物情報など）を特集していきます。第8号は、東播磨支部幹事の田中輝人

れから多人数でもOKです。締めにはホルスキ鍋をお勧めします。ホルモンと野菜にうどんが入ります。



総会冒頭に平成28年度の総括として、「平成28年度活動報告」の発表がありました。東播磨支部として4月9日に「関西六大学野球春季リーグ」大阪経済大学VS龍谷大学応援、5月28日に「関西学生サッカーリーグ」大阪経済大学VS近畿大学の応援を行い、天候にも恵まれて交流を深

めました。また、初めての試みとして、9月29日から10月1日の2泊3日で、宮崎副支部長（43回卒）の尽力により、生まれ故郷である長崎五島列島観光ツアーを開催し、会員の交流を深めました。このツアーの詳細は別紙レポートあります。

総会は、明石支部副支部長の安川武延様はじめ3名様を来賓に迎え、総勢9名と少人数での淋しい開催となりました。



第8回総会開催予

定

平成30年10月21日

(日)

今後は、10月の第4日曜日で固定して開催予定ですので、たくさんの方の参加をお待ちしています。

定例役員会開催予定

・3月25日(日)

・6月24日(日)

・8月26日(日)

・9月30日(日)

ホームカミングデー

懇親会と大樟祭



会員紹介

NO.7..福田

敏裕

第7号に続き第5回目となりました。



①回卒：昭和46

卒 (1971年) 37回

②住所：11675-0017

加古川市野口町良野

573-5

③電話番号：079-

422-4878

④職業：無職

⑤趣味：登山・スキー

⑥学生時代のエピソード

大学入学時、中学・高校と陸上競技をしてきたため陸上競技部を探していたのですが、体育館付近をウロウロしていると学ランを着た怖そうな人が「君ちよつと話があるからついてきてくれるか」と言われて、訳も分から

ずについていくと応援団の部室に連れ込まれました。応援団の勧誘だったのです。いくら断つてもらわなかったが、嫌になっただけで、まあ一回はいつてみたらと言われそのまま入団しましたが、まさか四年間続けるとは思いませんでした。一回生の時は毎日が地獄のような日々でしたが、今となってはいい思い出となりました。大学紛争の時は大変でした。大学本館が全共闘によって封鎖されてしまい(全共闘の拠点になっていたので)、授業もできず大学と関係もどうしようもなかったようです。封鎖も長引いたある日、体育会を中心に立てこもっている全共闘に対して攻撃を仕掛けましたが、建物の中はロッカーや机などでバリケード

が築かれてまるで迷路のようでした。突入することはできませんでした。そんなある日、空手部の部室で話をしていた時、ヘルメット・鉄パイプで武装した数十人の全共闘に襲われました。さすがにあの人数ではどうしようもなく、縄で縛られ、空手部の主将等と共に図書館前に並らばされ、人民裁判にかけられ、殺してしまえなどの罵声を浴びせられ、これはやばいと思いました。その後大学が要請したのか機動隊が校門の前に現れたので助かったと思います。機動隊は構内に入ることなく、だいぶ時間がたつてから、どこで話がついたのか開放されました。このことは一生忘れることはないでしょう。

⑦近況報告

定年退職後5年間の再任用を経て、4年前から加古川市のシールバー人材センターに登録し、週3日午前4時間ほど勤務しています。一人で

する仕事ですので気楽にやっております。一日中何もせずゴロゴロして、家内から邪魔者扱いされるよりちよいとい環境だと思っています。会社勤めを終えてからは時間に余裕ができたので、それまでなかなか足を延ばせなかった北海道のニセコスキー場へ毎年行っています。同行の仲間も皆70才前後です。いつまで行けるかわかりませんが、動けるうちは行こうと思っています。



⑧東播磨支部について

大樟会の活動についてですが、若い人の参加が少ないのが残念ですが、役員の方とも相談しながら、いろいろ知恵を出し合いながら考

えていきたいと思っています。

【注】福田さんは平成27年度から東播磨支部の支部長です。

4月9日に「関西六大学野球春季リーグ」大阪経済大学VS龍谷大学応援



5月28日に「関西学生サッカーリーグ」大阪経済大学VS近畿大学の応援



長崎五島列島ツアー

主催：大樟会東播磨支部

副支部長 山脇 和彦

期 日：平成29年9月29日(金)～10月1日(日)

集 合：神戸空港ターミナル 2F 出発ロビー付近 (29日18時45分集合)

旅 程：**9/29** 神戸空港—— (SKY147 便) —— 長崎空港 -----空港リムジンバス⑤番
 (金) 19:45 発 20:55 着 21:15 発

----- 40 分-----大波止停-----歩 1 分-----『コンフォートホテル長崎』(泊)・
 (乗車券 900 円) 21:55 着 夜食「三角亭」／朝食付 5,100 円

9/30 長崎港 ～～～JW～～～ 福江島 (トヨタレンタカーAQUA 10,540 円)
 (土) 7:40 発 9:05 着 「五島観光歴史資料館」9:45～10:15

-----武家屋敷通----- (南ルート) -----鎧瀬溶岩海岸-----富江陣屋-----大宝寺(国重文)
 10:20～10:30 (5k) 10:40～11:00 (10k) 11:50 食事 (15k) 12:40～50

-----井持浦教会-----大瀬崎灯台(灯台 50 選)-----荒川温泉足湯-----高浜ビーチ(渚 100 選)
 (8k) 13:00～13:20 (2k) 13:40～14:50 (20k) 15:20～15:40 (10k) 15:50～16:10

-----三井楽教会(日本遺産) ---道の駅遣唐使ふるさと館---『民宿西光荘』 (8,000 円+)
 (10k) 16:20～:30 (5k) 16:40 ～17:00 (2k) 17:10 (豪華舟盛&鯛の煮付け)

10/1 三井楽---- 水子浦教会----福江港～～長崎港(浦上天主堂・平和公園・亀山社中)
 (日) 8:00 出 8:05～:15 9:20 発 JW 11:10 着 市電フリー 11:30～14:00

----「四海桜」---- J R 長崎駅=====博多駅=====姫路駅{ｽｰﾊﾟｰ早特 5440 円得}
 14:20 チャンポン 15:00 15:46 発 かもめ 32 17:53 / 18:33 ⑬のぞみ 62 20:32 着

旅行費用： 航空運賃片道 5,000 円、船便往復 9,764 円、JR 特急・新幹線 12,860 円
 レンタカー、GAS7,800 円、宿泊代 14,000 円、バス 900 円、市電 500 円
 観光費 2,000 円、食事代 4,000 円他 (費用概算 60,000 円)

五島列島ツアーレポート

昨年9月末、東播磨支部として「長崎五島列島」2泊3日の旅を実施しました。そもそも一昨年暮れの忘年会の席上、当支部の宮崎副支部長の故郷である五島列島に行こうという話で盛り上がり、昨春から企画を練り秋のツアー実現となりました。当初6人の予定でしたが2名が参加できなくなり、福田支部長、宮崎副支部長、山脇副支部長、石原事務局長の4名で行くことになりました。



土曜日早朝、長崎港「ジェットフォイル」に乗船。程なく左手に「軍艦島」(平成27年世界文化遺産に登録)を見ながら海上を疾走し、9時過ぎに福江港に到着しました。私個人的にはもう一度来たかった五島列島にまさか30年振りに来れるとは夢のようです。

平成29年9月29日金曜日、19時45分に帳が下りた神戸空港を離陸し、空路長崎空港を目指す。1時間半心地よい揺れに身を委ね空港に着いたのは21時。空港バスに乗り市内のホテルにチェックインしたのは22時前。ホテル近くの大衆食堂で早速長崎の味を嗜みました。平成29年9月30日

港近くでレンタカーを借り、いよいよ島一周巡り(南ルート)ドライブを出発。まず近くの「観光歴史資料館」に立ち寄り、民族等の紹介ビデオを鑑賞し、五島の歴史とキリシタン文化の歴史に触れました。武家屋敷通りを散策し、少し海岸ルートを走り鬼岳噴火で溶



岩が海に流れてできた「鎧瀬(あぶんせ)溶岩海岸」に到着。



南国情緒漂う景色にうっとりしました。その後30分ほど走り「富江温泉センター」で早めの昼食を取り、海岸沿いのカーブ多い山道を走り、昼過ぎに「大宝寺」(国重文)に到着。空海

が唐より帰国してこの沖に漂着したとも言われ、最澄が寄進した仏像が展示されているらしい。



ここから一路、福江島随一の景勝地「大瀬崎灯台」(日本灯台50選)を目指す。途中、少し丘の上にある美しい教会が目にとまった。井持浦教会である。南仏のルルドの町の洞窟を模して造られた日本最初の霊泉に小さな聖母マリア像がひっそりこちらを向いていたのが寂しげだった。



まで行くのに20分かかった。360度のパノラマ、絶壁の下を目をやると碧く澄み切った東シナ海に吸い寄せられる。青い空に映える白亜の灯台。目に入るもの



すべてが美しく何度もシャッターを切る。30数年前の感動が蘇った瞬間だった。



興奮冷めやらぬまま灯台を後にし、西海岸を北上したら

「荒川温泉」に着いた。素朴な風情ある港町介護施設を兼ねた温泉センターがあり、その向かいの休憩所に足湯があり、そこでしばし足の疲れを癒した。一休み後、10分程走ると左手に福江島最大の海水浴場「高浜ビーチ」が現れた。日本一美しい砂浜海岸で、日本渚百選に選ばれている。時の経つのも忘れ、誰もいない海を眺めながら波打ち際を歩くのは少しセンチメンタルな気分になる。時刻も16時を回り、車は三井楽



(みいらく)地区に入った。途中「三井楽教会」に立ち寄ったがここはコンクリート造りのモダンな聖堂であり、歴史を感じなかった。

その後長崎県離島唯一の道の駅「遣唐使ふるさと館」で郷土のお土産、地酒を購入し「民宿西光荘」に17時過ぎ無事に到着した。古びた和室、廊下にあるタイル張りの洗面台。40年ほど前、大学のユースホステルクラブに入っていた当時、こういう感じのユースに泊まった記憶が甦った。何となく落ち着き郷愁を感じさせる。小浴場で疲れを癒し、夕食の場である広場に移る。テーブルに並べられているのは民宿ならではの海の幸。舟盛

りに舌鼓を打ち、鍋料理、天ぷらの盛り合わせさらに伊勢海老、丸ごとに鯛の煮付けと特大の鰯の塩焼き。さすが一人前は多すぎる。これで一泊二食付きで8,000円とは驚きだ。



翌日10月1日日曜日は、民宿前で写真を撮り、福江港に向かう。



途中、岐宿地区にある「水ノ浦教会」に立ち寄る。木造教会としては最大規模である白亜の天主堂。青空の中白雲に映える尖塔は絵になる美しさである。



小一時間ほど車を走らせ9時前に福江港に着いた。ターミナルで各自お土産を買い、9時20分発のジェットフォイルに乗船し、11時20分長崎港に到着。荷物を駅ロッカーに預け、「市電一日乗車券」を購入し、市内観光に出発だ。



まず、「浦上天主堂」明治維新後、弾圧に耐え続けたキリスト教徒たちが建てた天主堂。1945年の原爆で崩壊したが、その後再建され、爆風に耐えたアンジェラスの鐘が1日3回響き渡る。



その後、平和公園まで歩き、平和のシンボル「長崎平和記念像」の前で集合写真を撮った。上空を指す右手は原爆の脅威を、水平に伸びた左

手は世界平和を、軽く閉じた眼は原爆犠牲者の冥福を祈っていると言われている。



原爆資料館・平和記念館に立ち寄れたことが悔い残るが、その後長崎駅前で市電を乗り換え、「長崎亀山社中記念館」を目指した。言わずと知れた坂本龍馬が中心となつて慶応元年（1865年）、日本最初の商社の礎をこの地に創った。2017年は龍馬が京都近江屋で暗殺されて150年目



にあたる、龍馬も高台に建つ社中跡から眼下に市内を見下ろして世界に夢を馳せていたのだろう。



次に大浦天主堂・グラバー園に立ち寄る予定だったが、時間の関係で断念し、



長崎ちゃんぽん発祥の地「四海楼」で遅めの昼食を摂った。14時半を回っていたにも凄まじい盛況ぶりだ。最後に長崎の味を堪能しJR長崎駅に着いたのは15時30分頃。長崎発「特急かもめ28号」に乗車し、2泊3日の旅の帰路についた。



今回、私自身五島列島は2度目、長崎を訪れるのは4回目。非常にまた思い出の深い旅行になりました。やはり昔訪れた場所に再び足を踏み入れるというのは、何か感慨深いものがあります。これからもあの日の夢を追って旅を続けたいと思います。

最後に、今年の6月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン」

世界文化遺産に登録されたことをここに祝したいと思います。（東播磨支部副会長・山脇和彦（45回卒））